

2020 年度  
健康科学大学  
看護学部  
AO I 期

2019 年 8 月 30 日

## 2020 年度健康科学大学入学試験

### 小論文試験問題 (AO I 期)

次の文章を読み、あとの問いについて別紙解答用紙に記述しなさい。

三陸沿岸には、過去に何度も①シュウライした津波の記憶と教訓が数多くの石碑として残されている。中には「高き住居は児孫の和楽、想へ惨禍の大津浪、此処より下に家を建てるな」と記すものもあり、この地区では教えを②ジュンシュして 3.11 の惨劇から免れることができた。しかし多くの地域では先人の思いは伝わらなかった。

このようなことは、何も東北の人たちだけの特性ではない。南海トラフ海溝型巨大地震の津波を幾度となく経験してきた西日本の人たちも同様である。まるで、幾度試練に見舞われても海岸沿いに貝塚を作り続け、豊かな水と森を恵む火山の麓を離れなかった古代日本人からの伝統の a 如き 行動である。

先にも述べたように、東日本大震災の教訓を活かすべく、政府、行政の中にも地震被害の想定を見直す動きも出てきた。先日 (2012 年 4 月 18 日) には、東京都も首都直下型地震の被害想定を刷新した。従来の 1.5 倍の被害を想定している。しかしながら、私たちの危機感は一長一短なものではない。

A 自分だけは大丈夫。今日と同じく明日も b 平穏無事 であるに違いない。「正常化バイアス」と呼ばれるこの心理は、危機的状況下においても現状を過小評価することでストレスを回避して正常性を保とうとするものである。これに「多数派同調バイアス」が重なるために、③ゲンソウが悲劇を増大させる。これらは何も、c 専ら日本人ばかりが陥る④ヘンケンではない。一方で自然との一体感を有しながら暮らしてきた私たちには、自然に対する a 畏怖の念と同時に⑤モウモク的な信頼感・信仰心を抱く傾向があるのかもしれない。

しかし、もうそんな分析をしている段階ではない。首都圏直下型地震の災害予想 CG や、九州南部での巨大噴火を想定した石黒耀氏の小説『死都日本』(講談社文庫、2008 年) に e 怯えながらも、どこかよそごとのように振る舞っている場合ではないのである。

(巽 好幸 著、地震と噴火は必ず起こる一大変動列島に住むということ、新潮社 2012年)

問 1.本文中の二重下線部①～⑤のカタカナを漢字で記しなさい。

① シュウライ ( )

② ジュンシュ ( )

③ ゲンソウ ( )

④ ヘンケン ( )

⑤ モウモク ( )

問 2.本文中の波線部 a～e の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

a 如き ( ) き

b 平穩 ( )

c 専ら ( ) ら

d 畏怖 ( )

e 怯え ( ) え

問 3. 下線部 A の自分だけは大丈夫を表している一文の箇所を 40 字以上 50 字以内で抜き出しなさい。

問 4. 将来、甚大な被害を起こし得る大地震について、あなたの考えを 500 字以内で記しなさい。





## 解答例

問 1.本文中の二重下線部①～⑤のカタカナを漢字で記しなさい。(2点×5問)

①シュウライ ( 襲来 )

②ジュンシュ ( 遵守 )

③ゲンソウ ( 幻想 )

④ヘンケン ( 偏見 )

⑤モウモク ( 盲目 )

問 2.本文中の波線部 a～e の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(2点×5問)

a 如き ( ごと ) き

b 平穩 ( へいおん )

c 専ら ( もっぱ ) ら

d 畏怖 ( いふ )

e 怯え ( おび ) え

問 3. 下線部 A の自分だけは大丈夫を表している一文の箇所を 40 字以上 50 字以内で抜き出しなさい。(10点) **下記どちらも正解**

( 危機的状況下においても現状を過小評価することでストレスを回避して正常性を保とうとするもの ) 44 文字

( 危機的状況下においても現状を過小評価することでストレスを回避して正常性を保とうとする ) 42 文字

問 4. 将来、甚大な被害を起こし得る大地震について、あなたの考えを 500 字以内で記しなさい。

**1. 文字数 (10 点満点)**

450 字以上 10 点

450 字未満 5 点

300 字未満 0 点

**2. 誤字脱字 (10 点満点)**

同じ文字の誤字脱字については 1 回のみ減点

1 か所まで 10 点

3 か所まで 5 点

4 か所以上 0 点

**3. 文章構成 (20 点満点)**

話し言葉、「ですます・である」調の混在、段落分け、適切な句読点、ひらがなの多用

優れている 20 点

やや優れている 15 点

普通 10 点

やや劣る 5 点

劣る 0 点

**4. 論旨 (30 点満点)**

論旨の展開に一貫性がある、独創性や一般論等を踏まえている 等

優れている 30 点

やや優れている 25 点

普通 20 点

やや劣る 10 点

劣る 5 点